

令和 7 年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

自ら学び 自他のよさを生かし合いながら たくましく生き抜く児童の育成

【合言葉】 かしこく やさしく たくましく 笑顔いっぱい みゆきっ子

- ・【確かな学力】 自ら考え学び合う子
- ・【豊かな心】 自他のよさを認め合う子
- ・【健やかな体】 健康でねばり強い子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【めざす学校像】

- ・ 児童が安心して登校し、主体的に考え、ともに学び合う楽しさを味わえる学校
- ・ 教職員がチームとして高め合いながら、児童の成長を喜び合える学校
- ・ 保護者や地域との連携を深め、地域の学校として誇りに思える学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

～自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成～

- (1) 教育目標の具現化並びに学力調査の結果を踏まえて課題を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、地域資源を活用した創意工夫ある教育活動の展開とカリキュラム・マネジメントの充実を図る。
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、発達の段階や個に応じて各教科等での3つの資質・能力を明確にして育成する。
- (3) 個々の児童の学びを支える言語能力や情報活用能力、将来に向けたキャリア発達等を促すため、各教科等との関連を明確にし、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を図る。
- (4) 教員の授業力や学級経営力、ICTを活用した効果的な学びの確立を図り、図書館教育を中心とした校内研修等を通して教員のチーム力を高める。
- (5) 教職員の働き方改革をさらに推進するため、さくら連絡網の活用やICT活用、業務負担の平準化等を意識した業務の見直しに取り組めるように、学校全体で一層推進する。

4 教育課程編成の方針

- (1) 目指す児童像の具現化に向け「なりたい自分になろう！みゆきっ子パワーアッププロジェクト」として、知・徳・体の調和を図りながら特色ある教育課程を編成する。また、「頑張る学校プロジェクト」と連動して活動の充実を図る。
 - ① 基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や一人一台端末の効果的な活用、図書館司書と連携した授業の充実、個に応じた指導の充実に努める。
 - ② 互いのよさを認め合い励まし合う態度を育成するため、体験活動や心の教育を推進する。
 - ③ 心身の健康増進のため、基礎的な体力や健康管理能力、危険回避能力の育成に努める。
- (2) 全学年で取り組む共通目標については、学級活動において振り返り、児童自身のPDCAサイクルへの意識を高め、日常化にさせることで、児童の主体的な態度や協働的な課題解決力の育成を図る。
- (3) キャリア教育との関連を図り、自己肯定感の向上や将来に向けた「キャリア発達」（社会の中で自分が役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程）を促す。学年に応じて重点化を図り、保護者と連携したキャリアパスポートの蓄積に努める。
- (4) 図書資料を活用した学習活動を重点的に取り入れ、読書活動や図書資料を活用した調べ学習を通して、新しい知識や語彙力を獲得しながら自分の思いや考えを友達に分かりやすく伝え、伝え合うことで自分の考えを広げ深められる児童の育成に努める。

(5) 「情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育年間指導計画」に基づき、一人一台端末を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現について推進する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校経営

- ① 児童の学びの基盤である言語能力の育成や一人一台端末の効果的な活用，キャリア発達等については，各教科等の特質を踏まえた位置付けや重点化を図って育成する。
- ② 教職員の業務負担の平準化等を意識した業務の見直しに取り組み，さくら連絡網の活用や，ICT活用等，働き方改革を一層推進する。

(2) 学習指導

- ① 学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図る。
- ② 図書館司書と連携し，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。
- ③ 特別支援教育の視点を踏まえた個に応じた指導の充実に努める。
- ④ 図書館司書やボランティア，公共図書館等と連携し，読書活動の充実に努める。

(3) 児童指導

- ① 集団生活マナーの徹底を図る。
- ② 個々のよさを認め励ます指導の充実に努める。
- ③ 考え議論する道徳科の授業を核とした，宮っ子心の教育の推進に努める。
- ④ いじめ・不登校等の未然防止，早期発見・早期対応等に努める。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ① 自ら健康・体力を高める意欲の向上を図る。
- ② 基礎的な体力，健康管理能力の向上を図る。
- ③ 家庭と連携した食を大切にする意識向上に努める。
- ④ 地域・家庭と連携した児童の安全確保，危険回避能力の向上を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通，地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価												
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率90%以上 	<p>○主体的，対話的で，深い学びの具現化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問い・見通し，課題解決，まとめ・振り返り」を基本とした授業実践 ・自分の考えを広げ深める，話し合い活動の充実 ・友達と協力して学び合う場の設定 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1525 1442 1655"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>89.6</td> <td>86.4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>87.5</td> <td>89.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童，保護者の数値目標は，達成しなかったが，保護者の肯定的回答は，向上した。教職員の達成状況は，100%だった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続。 ・引き続き共に伝え合うことに重点をおいた授業実践 		R 6	R 7	児童	89.6	86.4	教職員	100	100	保護者	87.5	89.8
	R 6	R 7														
児童	89.6	86.4														
教職員	100	100														
保護者	87.5	89.8														

<p>1- (2) 豊かな心を 育む教育の 推進</p>	<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上 	<p>○道徳や特別活動を通して自他のよさを認め合い豊かな心の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 考え、議論する道徳の授業実践 学級活動、委員会・縦割り班活動、地域との交流活動の充実 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>89.6</td> <td>88.8</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>92.3</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員・保護者・地域の肯定的回答が指標を上回ったが、児童の指標が低くなっているものの、指標と同程度の数値であった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、粘り強く指導を図る。特別活動の中でも運動会や、体育におけるスポーツテストなど、異学年交流や助け合う活動を充実させて、指導を継続する。</p>		R 6	R 7	児童	89.6	88.8	教職員	100	100	保護者	92.3	92.6	地域	100	100
	R 6	R 7																
児童	89.6	88.8																
教職員	100	100																
保護者	92.3	92.6																
地域	100	100																
	<p>A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上 	<p>○目標を設定して取り組ませる指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童のよさを認め励ます指導の徹底 学期や年間の個人目標や学級目標の設定と振り返り キャリアパスポートや元気っ子ファイルの有効活用 音読・計算カードを含めた家庭学習に関わるカードを活用し、目標やめあてを設定して学習に取り組ませるとともに、家庭との連携を図りながら指導を行う。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.9</td> <td>88.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>79.9</td> <td>83.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童、教職員の達成状況は指標を達成した。保護者の肯定回答割合は、わずかに下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取り組みを継続していく。 ・学習カードの活用に加え、引き続き「家読」による家庭との連携を図っていく。</p>		R 6	R 7	児童	88.9	88.1	教職員	100	100	保護者	79.9	83.5			
	R 6	R 7																
児童	88.9	88.1																
教職員	100	100																
保護者	79.9	83.5																
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上 	<p>○健康・運動への意欲の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外遊びやサーキットトレーニング、スポーツウィークの推奨 感染症対策の徹底を含めた家庭と連携した健康への意識の高揚 養護教諭と連携した保健指導 <p>○望ましい食習慣づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> おにぎりの日とお弁当の日の実施 栄養士と連携した給食指導の充実 <p>○安全意識の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や交通安全教室を通じた対応力や危険回避能力の育成 一斉下校時の指導の充実 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.2</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.7</td> <td>88.4</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童・保護者の肯定的回答率が指標を下回ったが、ほぼ指標と同程度の数値であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・大きな変容は見られず、指標に近い数値であったので、今年度の取り組みを継続していく。</p>		R 6	R 7	児童	88.2	89.1	教職員	100	95.7	保護者	88.7	88.4	地域	100	100
	R 6	R 7																
児童	88.2	89.1																
教職員	100	95.7																
保護者	88.7	88.4																
地域	100	100																
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 85%以上 	<p>○目標を設定して取り組ませる指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童のよさを認め励ます指導の徹底 学級活動を軸とした自己有用感の醸成 家庭と連携したキャリアパスポートの蓄積 縦割り班活動の充実 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>86.5</td> <td>86.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>95.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・教職員ともに指標を上回ったが、教職員の肯定的回答が昨年度を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 キャリアパスポートをもとに、行事ごとに学級活動などで「自分の成長」を話し合い振り返る活動を取り入れる。</p>		R 6	R 7	児童	86.5	86.7	教職員	100	95.7						
	R 6	R 7																
児童	86.5	86.7																
教職員	100	95.7																

2- (1)
グローバル
社会に主体
的に向き合
い、郷土愛
を醸成する
教育の推進

A 6 児童は、英語を使って
コミュニケーションして
いる。
【数値指標】
・児童・教職員の肯定的回答
率 85%以上

○英語に親しみ積極的にコミュニケー
ションをとろうとする態度を育てる。
・ALT と連携した授業の充実
・英語に親しむ環境整備
・日常生活における ALT との交流機会の
充実

B

【達成状況】

	R 6	R 7
児 童	75.1	77.9
教職員	100	100

教職員の達成状況は、100%であ
った。児童においては昨年より
も数値が上がったが、指標を下
回った。
【次年度の方針】
・今年度の取り組みを継続して
いく。
・ゲームや読み聞かせを取り入
れた授業の充実を図っていく。

A 7 児童は、宇都宮の良さ
を知っている。
【数値指標】
・児童・教職員・保護者の肯
定的回答率 80%以上

○教科や総合的な学習の時間で、御幸地
区や宇都宮の特徴を考えさせる指導
に努める。
・宇都宮学の確実な実施
・地域の歴史や文化、食などの地域資源
や人材を生かした教育活動の充実
・取組の様子を HP や授業参観時に掲示
物等で発信

B

【達成状況】

	R 6	R 7
児 童	88.2	87.1
教職員	100	91.3
保護者	64.6	67.7

児童、教職員の肯定的回答は、目
標指針を達成しているが、昨年
度よりも減っている。保護者の
肯定的回答は、昨年度を上回っ
ているが、目標指針には届いて
いない。
【次年度の方針】
・3階にある「宇都宮学コーナ
ー」の掲示物を活用し、児童や職
員、保護者にクイズを出したり
連絡網で配信したりしていく。
・その様子を「学校便り」で紹介
する。

2- (2)
情報社会と
科学技術の
進展に対応
した教育の
推進

A 8 児童は、デジタル機器
や図書等を学習に活用し
ている。
【数値指標】
・児童・教職員・保護者の肯
定的回答率 85%以上

○積極的に活用した学習機会の充実に
努める。
・学年や教科に応じた効果的な活用
・児童の情報活用能力の育成
・図書室の活用と図書館司書との連携

B

【達成状況】

	R 6	R 7
児 童	87.5	85.0
教職員	100	100
保護者	82.6	79.3

児童は指標と同数字だが、児童
も保護者も昨年度より達成状況
が下回った。
【次年度の方針】
具体的な取組を目に見える形
で、共有できるようにする。

2- (3)
持続可能な
社会の実現
に向けた担
い手を育む
教育の推進

A 9 児童は、「持続可能な社
会」について、関心をも
っている。
【数値指標】
・児童・教職員の肯定的回答
率 85%以上

○学年に応じて環境や平和など、持続可
能な社会との関連を考える機会を設
ける。
・教科や総合的な学習の時間のテーマ
との関連
・校内掲示や各種たよりを活用した
SDGs 運動の啓発

B

【達成状況】

	R 6	R 7
児 童	85.2	86.1
教職員	95.7	78.3

児童・教職員ともに指標を上回
ったが、教職員の肯定的回答が
昨年度を大きく下回っている。
【次年度の方針】
具体的な取組を目に見える形
で、共有できるようにする。

<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○児童の実態の把握と個に応じた指導の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からの児童に係る情報共有 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会やケース会議等での組織的な対応 ・保護者や関係機関との連携 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 147 1442 215"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、教職員の達成状況は100%であった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から児童にかかわる情報共有や、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会やケース会議等での組織的な対応、保護者や関係機関との連携の充実に努める。 		R 6	R 7	教職員	100	100									
	R 6	R 7																
教職員	100	100																
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上 	<p>○いじめ防止への意識の高揚と適切な対応に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」をテーマにした道徳の授業 ・学校・学年だよりによる情報発信 ・委員会でのいじめ防止集会等の実施 ・いじめ0標語（ポスター制作・掲示） ・教育相談やアンケート（年4回）実施 ・保護者の考えるいじめ0標語の募集・掲示 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 528 1461 692"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>93.9</td> <td>94.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>76.3</td> <td>84.2</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>92.9</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>全ての対象者において、昨年度より肯定的回答が増えたが、保護者の肯定的回答が指標に達していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にご理解いただける取組を考えていく。 		R 6	R 7	児童	93.9	94.9	教職員	100	100	保護者	76.3	84.2	地域住民	92.9	100
	R 6	R 7																
児童	93.9	94.9																
教職員	100	100																
保護者	76.3	84.2																
地域住民	92.9	100																
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上 	<p>○児童の実態の把握と児童の自己肯定感の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q - Uや教育相談の結果を生かした不登校傾向の早期発見や早期対応 ・児童のよさを認め励ます指導の充実 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 949 1442 1077"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>93.3</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85.1</td> <td>91.3</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者とも肯定的回答が昨年度を上回っている。教職員は昨年度同様 100%の肯定的回答である。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QU や教育相談の結果を生かした不登校傾向の早期発見や早期対応、児童のよさを認め励ます指導の充実に努める。 ・各クラスで児童のよさを認める取組や教育相談の実施による成果などをHP や学校便りで伝えていく。 		R 6	R 7	児童	93.3	96.3	教職員	100	100	保護者	85.1	91.3			
	R 6	R 7																
児童	93.3	96.3																
教職員	100	100																
保護者	85.1	91.3																
<p>3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p>	<p>○児童のよさを認めたり児童の主体的な活動の充実に努めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のよさへの積極的な称賛 ・各種委員会、児童会、縦割り班等で児童を主体とした活動の充実 ・個人懇談で児童の頑張りやよいところを保護者に伝える。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1520 1442 1684"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>93.9</td> <td>94.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>83.6</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table>		R 6	R 7	児童	93.9	94.9	教職員	100	100	保護者	83.6	93.3	地域	100	100
	R 6	R 7																
児童	93.9	94.9																
教職員	100	100																
保護者	83.6	93.3																
地域	100	100																
<p>3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上 		<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上で指標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続して行う。 															

<p>4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 90%以上 	<p>○授業のねらいや手立てを明確にし、個に応じた指導の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材研究と個々の実態に即した支援の工夫 習熟度別学習，少人数指導の充実 かがやきルーム担当教員，特別支援学級担任との組織的な連携 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 147 1442 282"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>92.6</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>80.3</td> <td>88.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の達成状況は指標を上回った。保護者は昨年度より達成状況が上がったが、指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の取り組みを継続していく。 プリント学習の充実に図り，更に個々の力を伸ばしていく。 		R 6	R 7	児童	92.6	96.3	教職員	100	100	保護者	80.3	88.8			
	R 6	R 7																
児童	92.6	96.3																
教職員	100	100																
保護者	80.3	88.8																
<p>4- (2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○教職員の良好な人間関係作りに努め，組織力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員間の情報共有と風通しのよい職場環境づくり 多様な専門性を有するスタッフとの連携協力 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 595 1442 663"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・昨年度同様，教職員の達成状況は100%であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員間の情報共有と風通しのよい職場環境づくりや，多様な専門性を有するスタッフとの連携協力を努める。 		R 6	R 7	教職員	100	100									
	R 6	R 7																
教職員	100	100																
<p>4- (3) 学校における 働き方改 革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の肯定的回答率 85%以上 	<p>○学校の運営の見直しや行事等の実施方法の改善を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種便りを HP やさくら連絡網で発信するなど，印刷作業の軽減化 会議や打合せの効率化，行事の精選 ネットワークシステムの活用など効率的な職務執行 リフレッシュディ（月1回）実施 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 916 1442 983"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>87.0</td> <td>95.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的回答率は指標を達成し，昨年度よりも大幅に向上している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の取組を継続し，更に日課表や学校運営の見直しにより行事の効率化の評価・改善を図る。 		R 6	R 7	教職員	87.0	95.7									
	R 6	R 7																
教職員	87.0	95.7																
<p>5- (1) 全市的な学 校運営・教 育活動の充 実</p>	<p>A17 学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 80%以上 	<p>○小中一貫・地域学校園の取組を効果的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動，乗り入れ授業等の実施 中学校訪問や宮っ子チャレンジでの中学生との交流活動の実施。 小中一貫会議の様子をさくら連絡網，HPなどで公開（情報発信） 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1267 1461 1431"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.0</td> <td>80.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>83.8</td> <td>83.8</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>91.7</td> <td>85.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童や教職員，保護者，地域の数値目標は達成しているが，保護者以外は減少傾向にある。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中一貫会議における教職員間の共通理解をより深め，成果を感じられるようにしていく。中学校と連携した学校園での具体的な取組(あいさつ運動，乗り入れ授業，中学校訪問)などを各種便りやHP，朝会での紹介などで発信していく。 		R 6	R 7	児童	88.0	80.9	教職員	100	95.7	保護者	83.8	83.8	地域	91.7	85.7
	R 6	R 7																
児童	88.0	80.9																
教職員	100	95.7																
保護者	83.8	83.8																
地域	91.7	85.7																
<p>5- (2) 主体性と独 自性を生か した学校経 営の推進</p>	<p>A18 学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充</p>	<p>○地域の人材や企業と連携した教育活動の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1843 1461 1906"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>89.6</td> <td>88.4</td> </tr> </tbody> </table>		R 6	R 7	児童	89.6	88.4									
	R 6	R 7																
児童	89.6	88.4																

<p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>実を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科、総合的な学習の時間、社会科等における校外学習やリモート学習、出前授業等の実施 あいさつ運動等、地域と連携した活動の実施 保護者参加型の行事の情報発信並びに参加の機会の複数化 	<table border="1" data-bbox="1129 114 1461 215"> <tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>91.0</td><td>92.8</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100</td><td>100</td></tr> </table> <p>・児童の肯定的回答率 90%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、負担のないように外部とつながる教育活動の充実を目指す。 	教職員	100	100	保護者	91.0	92.8	地域住民	100	100						
教職員	100	100																
保護者	91.0	92.8																
地域住民	100	100																
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上 	<p>○安心・安全な環境づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検等での危険箇所や修繕箇所の把握及び迅速な対応 修繕箇所の把握と計画的な修繕 構内での安全確保に関する情報提供や注意喚起 	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1129 434 1461 568"> <tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>88.9</td><td>91.3</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100</td><td>100</td></tr> </table> <p>・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上で、指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> さくら連絡網を活用し、情報提供や注意喚起を行ったことが有効であった。来年度も継続していきたい。 		R 6	R 7	教職員	100	100	保護者	88.9	91.3	地域住民	100	100			
	R 6	R 7																
教職員	100	100																
保護者	88.9	91.3																
地域住民	100	100																
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○機器や図書の整理、確認及び有効活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検や整備の実施 効果的なICT活用や図書活用に係る研修の実施 	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1129 851 1461 918"> <tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100</td><td>95.7</td></tr> </table> <p>数値指標を上回ったが、昨年度より達成状況が下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員間で、教材教具の共有化を図っていく。 「とちまる学力向上プログラム」の活用の充実を図る。 		R 6	R 7	教職員	100	95.7									
	R 6	R 7																
教職員	100	95.7																
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 保護者・地域住民の肯定的回答率 80%以上 	<p>○自分からあいさつできる実践力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級や児童会によるあいさつ運動の実施・振り返り（あいさつ週間、ポスター等） 職員からの積極的なあいさつの励行、児童への称賛 家庭や地域と連携したあいさつ運動の実施 	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1129 1169 1461 1335"> <tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr> <tr><td>児童</td><td>87.2</td><td>89.5</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>78.3</td><td>80.6</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>92.9</td><td>100</td></tr> </table> <p>全ての対象者において、昨年度より肯定的回答が増えたが、保護者の肯定的回答が指標に達していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>縦割り班活動によるあいさつ運動を実施して、あいさつ運動を盛り上げていく。</p>		R 6	R 7	児童	87.2	89.5	教職員	100	95.7	保護者	78.3	80.6	地域住民	92.9	100
	R 6	R 7																
児童	87.2	89.5																
教職員	100	95.7																
保護者	78.3	80.6																
地域住民	92.9	100																

	<p>B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上 	<p>○集団生活のルールを守って安全に生活するための実践力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みゆきっ子生活スタンダード」の徹底 学年、学級による「きまりやマナー」、生活目標の指導 帰りの会や学級活動等での振り返り 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1131 143 1461 315"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>91.6</td> <td>90.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.6</td> <td>84.6</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>92.9</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>B 児童・教職員の肯定的回答が指標を上回ったが、微減している。地域の肯定的回答は 100 ポイントであったが、保護者の肯定的回答が下がり、指標に達していない。</p> <p>【次年度の方針】 保護者の肯定割合が下がり、指標には達していない。校外の活動についても、規範意識を高めていきたい。</p>		R 6	R 7	児童	91.6	90.1	教職員	100	95.7	保護者	88.6	84.6	地域	92.9	100
	R 6	R 7																
児童	91.6	90.1																
教職員	100	95.7																
保護者	88.6	84.6																
地域	92.9	100																
	<p>B 3 児童は自分のよさを理解し、より伸ばそうとしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 80%以上 	<p>○児童のよさを認め励ます指導の充実や互いのよさを認め合う機会の充実に努め、個々の自己肯定感の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰りの会・学級活動などで互いのよさを認め合える機会の設定 各教科の学習活動での学び合いの場の設定 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1131 694 1461 795"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>83.5</td> <td>86.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>B 児童・教職員の肯定的回答率 80%以上で指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 自他の良さを実感できるように実施の仕方を工夫する。</p>		R 6	R 7	児童	83.5	86.7	教職員	100	100						
	R 6	R 7																
児童	83.5	86.7																
教職員	100	100																
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B 4 児童は、授業中や集会等に、自分の考えを話したり、語彙力を生かして分かりやすく文に書いたりすることに慣れ親しんでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○授業中や集会等では、学年に応じた話し方を指導する。</p> <p>《みゆきっ子パワーアッププロジェクト》かしこく</p> <p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを声の大きさに気を付けて話す。 友達の話を静かに終わりまで聞き、考えを伝え合う。 <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを相手に分かりやすく話す。 友達の話をうなずきながら一生懸命聞き、話し合う。 <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを理由をつけて分かりやすく話す。 友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、対話する。 ぐんぐんタイムの活用を通して、学年・学級で日常的に漢字や語句の練習や文を書く活動に取り組む。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1131 985 1442 1086"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>80.5</td> <td>81.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.7</td> <td>95.7</td> </tr> </table> <p>B 児童の達成状況は、昨年よりも向上したが、指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取り組みを継続していく。 作文帳などの活用。日記を書いたり、スピーチしたりすることで、話す・書く力を付けていく。</p>		R 6	R 7	児童	80.5	81.0	教職員	95.7	95.7						
	R 6	R 7																
児童	80.5	81.0																
教職員	95.7	95.7																

<p>B 5 学校は読書活動を積極的に推進している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・保護者・児童の肯定的回答率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書室利用を活性化するため、多様なジャンルの本に触れる機会をつくる。 ・司書によるブックトークやボランティアによるお話し ・各種イベントの実施 ○読書ファイルの活用や学年だより、図書だより等での呼びかけや家読の取組など、家庭での読書を奨励する。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>88.2</td> <td>90.8</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>86.6</td> <td>89.6</td> </tr> </table> <p>・保護者の数値目標は達成しなかったが、児童、保護者の肯定的回答は向上した。職員の達成状況は 100%だった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書だよりや読書に関する情報を図書室クラスルームで掲載し、児童の目に触れやすいようにする。中央図書館とも連携し、夢のキャラバンによる読み聞かせを行う。ブックトークや並行読書を充実させ、本に出合う機会を多く設ける。 		R 6	R 7	児童	88.2	90.8	教職員	100	100	保護者	86.6	89.6
	R 6	R 7												
児童	88.2	90.8												
教職員	100	100												
保護者	86.6	89.6												
<p>B 6 学校は保護者と連携して、家庭学習の習慣化と基礎・基本の定着に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・保護者・児童の肯定的回答率 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果が期待される家庭学習の取り組み方についての研究 ・保護者と連携した基礎・基本の定着 ・ステップアップシートの活用等、目標を明確にした学習意欲の維持・高揚 ・家庭学習への評価や見取り 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>81.8</td> <td>83.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>80.7</td> <td>76.6</td> </tr> </table> <p>児童の達成状況は、昨年よりも向上し、指標も上回った。保護者においては、昨年よりも達成状況が下がり、指標も下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続していく。 ・引き続き学習がんばり週間の実施により、家庭との連携を図っていく。 		R 6	R 7	児童	81.8	83.7	教職員	100	100	保護者	80.7	76.6
	R 6	R 7												
児童	81.8	83.7												
教職員	100	100												
保護者	80.7	76.6												

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 めざす児童像

- ① A 1 「児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。」では、児童の肯定的回答は微減し、保護者は微増であった。宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」をより意識した分かりやすい授業づくりやペア学習・グループ学習の充実に努める。
- ② B 1 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」では、児童の肯定的回答は微増し、指標の 90% に迫ることができた。また、保護者は指標の 80% に達し、地域住民の肯定割合は 100% に達した。今年度、新たに縦割り班で行った月に 1 回のあいさつ運動を来年度も継続し、児童の家庭や地域での挨拶の実態を調査して把握しながら、学校・保護者・地域で挨拶の励行を進められるようにしていきたい。

2 めざす教職員・学校像

- ① A 11 「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」では、保護者の肯定的回答率 90% を超えることはできなかったが、対象の 4 者の肯定的回答率が上昇した。保護者の理解を得られるように、日頃の対策を継続していくとともに、児童会主催のいじめゼロ集会を保護者公開するなど、学校のいじめ対策を積極的に保護者と共有していく取組を考えていく。
- ② A 13 「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」では、児童の肯定的回答は 3 年連続で増加し、保護者の肯定的回答は、昨年度より約 10% 増加した。担任の一人一人への寄り添いや学校がチームとして対応していることが功を奏していると思われる。今後も児童一人一人を大切にする意識を第一にもって臨みたい。
- ③ A 16 の「業務の効率化」については、教職員の肯定的回答が約 9% 増加した。これまで以上に勤務時間を意識し、各仕事における作業の精選化を職員一人一人が行った結果と思われる。これからも AI 活用やこれまでの業務の見直しを積極的に行っていき、勤務時間外労働時間の削減を図りたい。

3 本校の特色

- ① 昨年度から始めた学校図書館教育研究では、単元に関わる並行読書を進めたり、それらを活用した発表を通して語彙力を伸ばしたりすることを始めている。小教研学校図書館部会の発表では、2 つの学年の授業を公開し、その効果を他校へ見せることができた。今後も研究を維持、発展させ、本校児童の読解力や語彙力等の向上に努めたい。

- ・ A 8 「児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。」では、児童の肯定的回答率は微減したが、B 5 「学校は読書活動を積極的に推進している。」では、児童・保護者の肯定的回答率が増加していることから、読書活動については、高評価であることが窺える。今後はデジタル機器もより積極的に調べ活動に取り入れ、情報収集能力の向上に努めたい。
- ・ B 4 「児童は、授業中や集会等に、自分の考えを話したり、語彙力を生かして分かりやすく文に書いたりすることに慣れ親しんでいる。」児童の肯定的回答率は微増し、3年連続の増加となった。

② B 3 「児童は自分のよさを理解し、より伸ばそうとしている。」では、児童の肯定的回答は微増した。2年前から確実に増加しており、「みゆきっ子パワーアッププロジェクト」の合言葉「かしこく やさしく たくましく」のねらいを各活動に盛り込み、児童一人一人が自己肯定感を高めていけるようにしたい。

7 学校関係者評価

- ・保護者と連携を図って宿題に取り組めるようにするためには、学校では基本的なことを教え、じっくり家庭で取り組める課題にするなど、学校側の宿題の出し方を工夫する必要があると思う。
 - ・ボランティア活動において、保護者の参加が少なかった。
 - ・地域との協働活動やボランティア活動は、基本的に今年度と同様でよい。
 - ・先生の働き方改革に伴い、地域協議会の会議時間や内容などを見直す必要がある。
 - ・先生方の分かりやすい授業に向けての意欲やスキルの高さがうかがえる。
- あいさつがもっとできるように学校と地域、家庭が一緒に取り組めるとよい。
- ・学校図書館教育の充実により、図書に関する肯定的回答が高い。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 本地区は、地域の協力が多く、反対に保護者協力が少ない傾向にある。家庭との連携が必要なボランティア活動や家庭学習などにおいて、取り組み方の工夫や学校側からの発信方法の工夫などが必要であると思われる。
- 教員の授業力において、高評価を得ている。学校図書館教育の研究結果やその過程が他の教科へも好影響を及ぼしていると考えられる。今後も、研修や日常のコミュニケーションを図り、教職員全体のスキルアップを図りたい。
- ・あいさつは、時期や学年によって差が見られることがある。学校内でのあいさつを高めつつ、家庭や地域でのあいさつも活性化するようにしていきたい。
- ・「みゆきっ子パワーアッププロジェクト」の合言葉「かしこく やさしく たくましく」のねらいを各活動にしっかりと盛り込んだり、児童や教師自らがスモールステップでPDCAサイクルを意識して少しずつ向上感を高め、児童一人一人が自己肯定感を高めていけるようにしたい。
- ・今年度の働き方改革における教職員の評価は、非常に向上した。時間だけでなく、内容や作業効率を考え、「やりがい」を中心にした働き方改革にしていきたい。
- 学校は、地域・保護者と連携・協力しながら、各種行事や教育活動の充実に努めていく。小中一貫教育の取組については、さくら連絡網やHPなどで公開するなど、外部への情報発信を積極的に行っていく。
- ・御幸地区コミュニティセンターでの高齢者との交流や低学年の地域の高齢者との触れ合い活動を継続し、相手を思いやる心の醸成や自己肯定感の向上につなげていきたい。
- ・いじめゼロ集会や宇都宮学クイズ、芸術鑑賞等において、校内だけでなく、保護者や地域住民が参加できる機会を増やしたり、児童とともに活動したりする機会を設け、教育活動の周知を図る。